

日本の実力派たち

その漢方薬局は難産だった。東京のJ.R恵比寿駅近くへの開設を申請した十年前、都の担当者に薬局名は設立者名か地名からとするのが規則だといわれた。だが「幸井（こうい）は読みにくい」「な」と記した理由書を提出。初志を貫き「幸福薬局」を誕生させた。

最初は敷居が高い。必ず予約が要る。接客に最低でもひとり三十分を確保するためだ。

ジャスミン茶に似た香ばしさ。ガラス張りの調剤室に並んだ生薬の瓶。大きなテーブルでカウンセリングが始まる。

病状、食習慣、睡眠、汗はかきやすいか、むく

幸福薬局代表・中醫師

こうい としたか
幸井 俊高さん (43)



生命力の治癒 漢方に託す

みはあるか、肌荒れはどうか、排便は順調か……。かじくり縛る。生活のほとんどを親切丁寧に関き取っていく。三難し。頭とエネルギー十分の対話を経て、どのをラルに使うので、新規部卒。同期生のほとんど

が大学院に進むなか、薬師の資格を取った三共に入社した。生産管理や品質管理を任されたのは、昼夜を分かたず精神安定剤を製造する無人工場。ふと疑問を抱いた。米ジョージワシントン大への留学でMBA（経営学修士）を取得。その間も疑問は消えない。帰国後一年で退職。経営も務めるようになった。そこが幸福薬局だった。一念発起、東京都文京区にある中国立の北京中

が大学院に進むなか、薬師の資格を取った三共に入社した。生産管理や品質管理を任されたのは、昼夜を分かたず精神安定剤を製造する無人工場。ふと疑問を抱いた。米ジョージワシントン大への留学でMBA（経営学修士）を取得。その間も疑問は消えない。帰国後一年で退職。経営も務めるようになった。そこが幸福薬局だった。一念発起、東京都文京区にある中国立の北京中

薬剤師は想像以上に重い責任を負っている。厚生労働省は薬剤師が薬局を「常時・直接」管理することを求めている。客の顔色、体におい、細かい動きにも気を配り、薬を決めること

問われる実力 薬剤師に重責

が期待されているからだ。薬剤師養成のための大学薬学部は六年前に延びる。医師だけでなく、薬剤師も説明責任が求められる時代。同時に患者も自己責任が問われている。

写真 瀬口蔵弘
文 大林尚
毎週月曜掲載